

佐賀駅周辺整備調査特別委員会

令和2年12月8日(火)

午後3時30分～午後3時47分

議会第1会議室

【出席委員】山下伸二委員長、永渕史孝副委員長、中村宏志委員、御厨洋行委員、
富永明美委員、宮崎 健委員、白倉和子委員、福井章司委員、
重田音彦委員、平原嘉徳委員、嘉村弘和委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】山下明子議員、中山議員

【執行部出席者】武藤佐賀駅周辺整備構想推進室長
ほか、関係職員

【案 件】

・佐賀駅周辺整備関連事業に関する諸種調査

○山下伸二委員長

ただいまより第8回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を開会いたします。

本日の委員会につきましては、11月16日に開催した第7回の特別委員会で、佐賀駅南口暫定駐車場に設けてある障がい者駐車スペース5台分について、県の条例に基づく台数なのかという質問があり、執行部からは、駐車場の運営を開始した後、駐車可能台数が増えていたため確認してほしいとの答弁がございました。本件につきましては、まず正副委員長で報告を受け、その状況によっては再度委員会を開催する場合もある旨お伝えいたしましたけれども、先日、正副委員長で報告を受けた結果、委員会を開催する必要があると判断しましたので、本日、第8回の特別委員会を開催することといたしました。そのため、本日の議題は、佐賀駅南口暫定駐車場についての1件について、報告を受けることといたします。

それでは、執行部から、佐賀駅南口暫定駐車場の障がい者用駐車スペースについての説明をお願いいたします。

◎佐賀駅南口暫定駐車場の障がい者用駐車スペースについて 説明

○山下伸二委員長

前回、確認するという事で確認していただいた中身、正副委員長で受けましたけれども、改めて、本日特別委員会を開いて、今、状況の報告をいただきました。

この件について皆さんからの御質疑をお受けしたいというふうに思うんですけども。

○白倉委員

障がい者駐車場のことなんですけど、2台増やすことによって規定の台数はクリアしたってことで、それはよかったと思っているんですけど、先ほど報告の中にありましたように、

出入り口が、本当に人1人通れる出入り口になっていたんですね。何ていうかな。互い違いにこう、あれしてですね。

ですから、今出入り口は、この図でしたらどこになるのか。スムーズに車いすの人が出られないなってよく思っていたんです。まずちょっとその場所を示していただけですか。この角を、あの場所をきれいに工事して空けられたっていうことでいいんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

1番上の写真を見ていただくと非常に小さいんですけども、赤い服を着た人が立っているんですが、ここが出入り口になっています。で、コムボックスにまっすぐ入っていくようになって、3本ラバーポールが立っていたんですけど、一本移動させてですね。基準90センチかな。90センチという、最も障がい者の方にも優しい基準がございますが、その基準に沿うようにラバーポールを移動させて、スペースを確保しているところです。

○白倉委員

90センチってということで、それで十分という——1本ラバーポール取っただけで大丈夫ですかね。大丈夫ってもちろんそれ確認されているでしょうけれども、私たちが、ちゃんと台数が充足しているかっていうふうなことを言わなければ、恐らくラバーポールのことを気づかれていたかどうか、私ちょっと疑問なんですよ、はなはだ。あそこを、車いすでとめてどっから出ていくんだらうなって思っていたんですが。

そして、ちょっと続いての質問ですが、その障がい者駐車場の中に、こちらの車いすのマークがついている5台分ですね。この方たちはどこから出るんですか。これ、コムボックスのほうに斜めに抜けて出ようって言ったって、車いすを通して、この幅じゃ出られませんよ。この方たちはどこから、動線はできるんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

左斜めに、上のほうに通路がついていると思いますが、ここは基準どおりのスペースにしておりますので、通っていけるように設計しております。

○白倉委員

今回改めて広めたわけじゃないんでしょう、広めたんですか。私はよく買い物に行くんですが、ここを車いすが通るのはきついなってしょっちゅう思っているんですが、よしんば、買い物客を想定しての話ですよ。これで十分だと考えておられますかね。

○佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

基準に沿って、スペースの確保はしております。先ほど申し上げました今度新たに設置した分は、確かに行ってみますと車いすが通れないなということで、改めて測量しまして、ラバーポールを移動させましたが、以前のところはももとの基準に従って造っておりますので、そちらは今回いじっておりません。

○白倉委員

基準って言われるなら、その何センチっていう基準があるんでしょうから。私たちの感覚

では、決してそう広くない。車いすの人にとって、ましてや荷物なんかがあればですね。後ろに載せてあったりしたら通りにくいと思うんですが、これから私たちもちょっと注視しておきます。

で、この方たちが、5台の車ですね、5台の車の駐車場にとめた方たちが、私がちょっと通りにくいんじゃないかって言っている、この導線しかまずないんですよ。こっちのほうの、今度あけたほうの動線には、よっぽどその車の中を通ってどうこうといったら別ですけども、普通、この駐車場のマークがついている、5台分の方の動線は、もうこの斜めの動線を考えているわけですね。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

これ最初に設置しましたときには、駅やコムボックスに最も近い場所に障がい者用の駐車場を設置するというので、ここに5台分設置しておりましたので、ここから通っていかれば、この通路どおり通っていかれば、この新たに設置した駐車場を除けば、最も近い位置にある、通行としても、目的の場所に到達するには、もっとも近いルートになっているというふうに思います。

○山下伸二委員長

白倉委員よろしいですか。

ほかにございませんか。

はい、中村委員どうぞ。

○中村委員

今の白倉委員の話にちょっと関連ですけども、既存の5台の方の台数があるじゃないですか。これ、今の話ちょっと、利便性をですね、利用者の方の利便性を考えたときに、今増設した2台分と、既存の分を真ん中のほうにまとめるというお考えはないんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

以前から設置しておりました5台分が、非常に使い勝手が悪いというふうには私たちも判断しておりませんので、新たに設置した分は、新たに、最も、今現状1番いい場所に設置しましたが、以前の分がまずかったというふうには判断しておりませんので、これはあくまでも暫定駐車場であるということを前提にしますと、現状のままで不足はないというふうに思っております。

○中村委員

けど、その増設した分が利便性がよかったわけでしょう。ならば、既存のほうも比べていただいて、そこ、もう1回考え直し、見直したほうが、利便性を重視した場合1番いいんじゃないかなと思いますけど、いかがですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

今回、こちらに設置しましたのは、1番近い場所が2台分確保できたということが、新たに設置した場所のメリットです。で、以前からありました場所っていうのはですね、障がい

者の駐車を集約できておりますので、お互いこう接触せずに広く、それぞれの、5台分が広くとれているというのがこのメリットだったというふうに思います。まあ、ここに1台増設するというのも最初考えはしましたが、増設するスペースがここで取りにくいということもありましたので、新たに、今回整備した駐車のほうで最もふさわしい場所を選んだということです。

○白倉委員

ちょっと関連ですが、ちょっと私の感覚ではこの既存の5台というのは非常に導線が使いにくい、この斜め動線——買い物に、我々が買い物に行って手押し車を押していくときでも思うんですよ。荷物を持って帰るときに、ここチェーンがちょっと張ってあって、斜めに切ってあってですね。ここを車いすが通るのはきついやろうなと私はもう正直思いますよ。車いすの方に1回通っていただいたらよくわかると思うんですが、通れる、通れないじゃなくて、通りやすいか通りにくいかっていう視点もやっぱりいるんですね。そういったところをもう少しちょっと研究していただいてですね。今、中村議員から出たような考えですね。この真ん中のところか、もしくは、1番駅にくっついたところ、その辺なんかにはちょっと考えられないかということをご検討していただきたい。

というのが、今、もう工事が始まって、北は始まっていますが、南のほうの工事——障がい者用の駐車場ってというのがもう台数が限られて、何台ですかね、1台分ですか、2台分ですか、1台分でしょ。となれば、JRを使う方なんかが、もうここにとめざるをえなくなるわけですよ。そういったことを考えたときに、この既存の5台分の場所は私ちょっと考えてほしいと、これ切に思います。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

まず、この既存5台、これまで、障がい者駐車場として設置していた5台についての、もちろん、通りにくいというような御指摘もございましたが、それについての苦情等こちらのほうに来たことはございません。まあ、それでいいということではなくて、そういったことについては、今後、そういう御指摘もありましたので、我々としても再度検証したいというふうに思っておりますが、一応、かなりこう厳しく定められた県の条例に従って設置しておりますので、多分、実際に御利用されている方が、どうしてもこう厳しいというふうな話ではないんだろうなというふうに私たちとしては判断しておりました。

そこは、検証はしっかりしたいというふうには思っております。

○山下伸二委員長

ほかにございませんか。

今、白倉委員と中村委員からあったんですけども、最初運営を開始したときには、今回2台増設したところはまだ駐輪場だったわけですよ。資材置き場だったりとかですね。ですから1番近いところということで、5台の既設のところの、既存のところをされたと。

で、こういうふうに広げられたわけですから、さっき言われたように、暫定とは言いなが

らですね、やっぱり全体的なその利活用の見直してというのは必要だったかなというふう
に思いますけども、2台増やされています。前回の委員会で質問をした際に、その委員会
中でお答えいただけなかったので、後ほど、正副委員長で受けた際に、やっぱりこれはし
っかり確認をすべきだったということについては、正副委員長のほうからも、執行部の方
に話はさせていただいております。今後駐車場の運用のあり方については、また特別委員
会の中で皆さんと論議をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

ほかに皆さんからございませんか。

なければ執行部の皆さん、退席いただいて結構です。

◎執行部退席

○山下伸二委員長

それでは次回の委員会なんですけども、次回の委員会、積み残しも幾つかありますので、
これも事業の進捗状況を踏まえながら、執行部と調整の上、改めてお知らせをすることと
いたします。恐らく年明けになると思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

ほかに皆さんからなければ、これをもって、第8回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を終
了いたします。お疲れ様でした。